

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年9月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学ロサンゼルス校 現地言語: University of California Los Angeles
留学期間	2019年6月～2019年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年9月15日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月下旬 2学期:1月上旬～3月下旬 3学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	4
創立年	1919年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6403.00	688124円	サービス料金等含む
宿舍費	5722.60	634560円	食堂の使用料金を含む
食費	442.98	47607円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	285.00	30628円	形態:
渡航旅費	3617.23	388,740円	重量超過でプラス1万円
雑費	1824.69	196,098円	
その他	346.83	37274円	交通費(主にUber)
その他	687.93	73931円	留学前/後日のホテル代等
その他		円	
<b>合計</b>	19,330.26	2,096,962円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田空港—ロサンゼルス国際空港

渡航費用

チケットの種類	プレミアムエコノミー
往路	189370 円
復路	189370 円
合計	378740 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

LIXIL Travel

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 3)

3)住居を探した方法:

インターネット

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

早い段階で自分に合う寮を調べておき、チェックしておくことをお勧めします。私の部屋は比較的涼しい部屋で、3 人部屋×2の6人で共有するリビングルームなどもあったのでとても快適でした。コミュニケーションをとることにしても重要な役割を持つ寮ですが、3 か月住む部屋なので、自分にとって快適であるかどうか重要視しても良いと感じました。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生のための機関があり、困ったことや小さなことでも気軽に相談、助言をもらうことができました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学前に政府の公式サイトで得た情報や、アメリカに住んでいる友達の助言を参考にしました。現地に着いてからは、現地に住んでいる人に大学の周辺について詳しく聞き、どこが危険で何時までに部屋に戻った方がいいかなどを判断しました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内は、寮の部屋も含めほぼ全域にフリーWi-Fi サービスがありました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的に日本で作ったクレジットカードを使っていました。また、現金も多少持っていき、初日にドルに換金して部屋で保管していました。現地で銀行口座は作っていません。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に大学内のストアやすぐ近くのショッピングセンターで必要なものは揃えられます。身の回りのグッズで、長年使っていてなじんでいるものがあればもっていてもいいかもしれません。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に MyUCLA という大学のサイトから、クレジットカード情報を入力し支払いしました。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
留学して、日本の文化を世界にもっと知ってもらいたいという願望ができ、それを叶えられる職種を探そうと今考えています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
自分が興味あることなどを留学経験を通してさらに深めることを意識しながら留学生活を送れば、無駄にならないと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
17 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Topics of Japanese Cinema	日本映画について
科目設置学部・研究科	
履修期間	sessionA
単位数	4.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Kenneth Shima
授業内容	日本映画をみて、日本の歴史、文化、映画技法を学ぶ。アメリカ人が日本の文化について講義するため、面白そうだと思って受講したが、基本的にさまざまな映画技法について学んだあと、それぞれのシーンの意味や技法について話し合うことがメインだった。思っていたものとは少し違う授業だったが、日本とは違った視点で学ぶことができたので有意義だった。
試験・課題など	毎回1本日本の映画を見る。授業の前に見ておくことが求められる。また、それに関連したリーディングの課題も、毎回授業の前に読んでおく必要がある。また、毎週映画に関しての小レポートを書くことが求められる。 成績は主に授業での発言と、毎週の小レポート、中間と期末のレポートで評価される。
感想を自由記入	日本のことが大好きな先生だったので、日本人である自分たちの意見を興味深く聞いてくれて、とてもリラックスして授業に参加できた。また、受講している生徒も多少日本についての興味があるので、意見をしっかりと聞いてくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	sessionA
単位数	4.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、スピーチ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Negrete, H.E
授業内容	公の場での話し方、スピーチのコツなどについて学ぶ。
試験・課題など	成績は3回のスピーチと、授業への貢献度で決まる。課題は特にないが、スピーチのトピックや内容は授業外で考えてくる必要がある。
感想を自由記入	クラスメイトが全員ノンネイティブスピーカーなので、英語の練習には最適の場所だった。先生もとても分かりやすく話してくれて、授業が楽しみになるまでであった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Globalization	グローバルゼーション入門
科目設置学部・研究科	Global Studies
履修期間	SessionC
単位数	5.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Adina Matisoff
授業内容	様々な観点から今日のグローバルゼーションについて学ぶ。先生が言ったことに対して生徒が自由に意見を言っていく、まさにアメリカンな授業スタイル。レベルはかなり高い。
試験・課題など	成績は出席と中間レポート、グループプレゼンテーション、期末試験で決まる。課題は毎回の授業の前までに指定されたリーディングを読んでくる。
感想を自由記入	まず生徒の大半が現地生だったので、非常にレベルが高く、発言も難しい状況にあった。課題は、毎日相当の量のリーディングをこなす必要があり、それをもとに授業のディスカッションが構成されるので、十分に理解したうえで授業に臨むことが必要になってくる。テストも全篇論述なので、勉強は結構大変だった。 ただ、世界の中心であるアメリカの観点からグローバル化について学べるので、非常に良い経験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English through language, culture and society	言語、文化、社会の中の英語
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	SessionC
単位数	4.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Trevor Kann
授業内容	ジェンダー論や地域格差、人種差別をメインテーマに英語、英語話者のあれこれを学ぶ。少人数の授業で、生徒の発言が重要になってくる。
試験・課題など	リーディングの課題はたまにあるが、5ページほどなのでほぼ無い。毎週言語に関するブログを書く。成績は出席と中間レポート、グループプレゼンテーションで決まる。
感想を自由記入	先生が非常に陽気でとても楽しかった。10人ほどのクラスなので、全員と話す機会がある。英語について深く知ることもできるし、最近のスラングなども教えてくれる。英語力をあげるなら最適の授業だと思う。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	大学入学と同時に海外留学を考え、授業も留学のために英語で行う授業を多く取ったりした。
8月～9月	
10月～12月	留学を本格的に決意しはじめ、このプログラムを見つける。 応募条件を満たすために TOEIC を何度か受ける。
2019年 1月～3月	このプログラムに応募(二次募集)。春休みの間は英語の勉強と、アメリカ、UCLA についてよく調べた。授業のシラバスを読んだり、それぞれの寮について調べた。
4月～7月	4月：どの授業を取るか決めたり、寮の申請をした。その後、お金の振り込みも完了。 5月：向こうについての知識を深めつつ、いつ出発するかなど具体的なことを決めた。 6月：出発。
8月～9月	7, 8月：留学中。特筆するようなことは起きなかった。 9月：帰国。
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	僕はそもそも大学に入る目的の1つが留学することだったので、日本の中でも指折りのグローバル大学である明治に入学しました。留学がしたかった理由としては、もともと海外に興味があったこと、好きな英語を思い切り活かせる場所に行きたかったこと、そして文化の差異や、日本の文化が世界にどう見られているかを自分の目で確かめてみたかったというのが主な理由です。そのため、世界の文化が集結するアメリカ、特にダイバーシティに富んだカリフォルニア州に行くことを決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のためにした主な準備は、英語力を少しでも上げようとしたこと、留学先について詳しくなっておこうとしたことです。英語は、単語や文法は言うまでもなく、現地の人がどのように話すかを調べるために、現地の人の会話を収録した参考書などを買いました。留学先の大学についてや、その周辺の治安についてはよく調べたのですが、現地の安全で信頼できる飲み物や、スーパーマーケット、その他さまざまな施設などについては調べておらず、しばらくは疑心暗鬼になりながら生活していました。もっと生活面についても調べておけばと後悔しています。
この留学先を選んだ理由	上にも書いたことですが、僕は世界の文化の差異や、日本の文化が世界にどう見られているのか、ということがずっと気になっていたのので、自分でそれを確かめるチャンスだと思い、世界の中心であるアメリカ、文化の集束する場所であるロサンゼルスにある UCLA を選びました。他には、治安が東海岸に比べて安全であったこと、西海岸のほうが現地の人の英語がゆっくりで、初めて海外に行く自分にとっては都合良かったこと、乱れない気候なども要因です。
大学・学生の雰囲気	大学はまず想像よりずっと広いです。建物は歴史を感じる荘厳なものから、最新のデザインのものまで立ち並んでおり、まず建物に圧倒されました。この素晴らしい建物のおかげで、毎日新鮮な気持ちで、自分が UCLA にいるということを確認できるので、一種の心の支えでした。学生の雰囲気は、想像通り明るい人が多いです。ただ、それにかまけて声をかけないと何も始まらないことも学びました。自分から進んで話しかけると、みんなとても気さくに話してくれます。
寮の雰囲気	僕が選んだ寮は、他のみんなとは違うところで、一つの建物に住む人が少ない場所にいました。そのため、寮の人との交流は、比較的少なかったと思います。部屋は、シェアハウスのような形式になっていて、共同リビング、風呂、トイレ付で、三人部屋が2つの6人で住む、という感じでした。リビングでくつろいでいるときにもう片方の部屋の人と話したりはしましたが、他の場所での交流はあまりありませんでした。ルームメイトは、一人は交流を好み、よく出掛けたりしたのですが、もう一人はずっとヘッドホンをしたままパソコンとにらめっこしていたので、あまり話す機会がありませんでした。お互い自分の生活には干渉しないように決めていて、十分にくつろぐことはできていたので、ストレスは溜まりませんでした。
交友関係	基本的には、上述のルームメイトの一人と、クラスで仲良くなった人と出掛けることが多かったです。とくに SessionC は、インターナショナルスチューデントのための機関が開催していたイングリッシュサークルに参加したので、そこでも交流の輪が広がりました。とる授業にもよると思うのですが、僕は現地の生徒よりも、自分らと同じように他の国から来ていた生徒との交流が多かったです。それでも、日本人よりは格段に英語は上手なので、留学生だからと言って英語の上達にならないということはありませんでした。
困ったこと、大変だったこと	語学力に関しても、明治に入るような人であれば困らないだろうし、特筆するような困ったことには直面しなかったのですが、しいて言うなら、カリフォルニアは寒い、ということです。夜は半そででは厳しいくらいに冷え込み、僕は初日の夜に冬用の布団と、厚めのパーカーを買いました。アメリカの夏だからと言って、暑いとは限らないので、防寒具は持って行って損はないと思います。あとは食事に飽きました。お米が恋しくなったりしましたが、近くに日本街もあり、困ったというほどでもありませんでした。
学習内容・勉強について	上述の通り、僕は日本文化が外国人にどう見られているかに興味があったので、日本映画を題材にディスカッションができる授業を取っていました。もちろん専門用語やスラングに悩まされたり、話すスピードに圧倒されたりしましたが、ここでそれを理由に相手に気を使わせたならアメリカに来た意味がないと思い、そのままのレベルで必死についていきました。知っていることを英語で再び習うのも新鮮味があってとても面白かったです。

課題・試験について	課題はもちろん膨大です。僕は夜の0時を超えたら勉強しないと昔から決めているのですが、そのために、授業以外の時間は、集中力が切れるまでずっと勉強していて、飽きたらランニングをしに行き脳に酸素を送るという生活をしていました。休日を返上することもありましたが、このくらい忙しい方がかえって充実します。なので課題が多いからと言って挫折しないでください。身になることばかりだし、ここで放棄したら高いお金を払って世界トップレベルの大学に来た意味がありません。
大学外の活動について	大学外の機関や活動には参加しませんでした。遊びに行ったりするのも大学の友達と行っていたので。
留学を志す人へ	とにかく自分から行動することが大事です。留学を決心することから、帰国するまで、すべて自分の責任、判断で行動することになります。もちろん、日本にいるときも、向こうでも、多くの人がサポートをしてくれて留学が成立しますが、他人が留学を成功に導いてくれるわけではありません。留学を意味あるものにできるかどうかは自分次第です。積極的に行動し、目的を見失うことなくまっすぐ突き進んでください。目的を見失わなければ挫折することも、ホームシックになることもありません。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	課題	授業	イングリッシュサークル	授業	睡眠	睡眠	お出かけ
					課題	お出かけ	
午後	授業	課題	授業	課題	大学内散策	お出かけ	お出かけ
	課題				課題		課題
夕刻	ランニング	課題	課題	ランニング	プール	お出かけ	課題
夜	課題	課題	課題	課題	課題	リラックス	課題